

16期12号 医療安全ニュース

今回のテーマ: そのトイレ、すぐに開けることができますか？ ～患者救出のためにトイレキーの再確認を～

患者さんがトイレ内で転倒や意識消失を起こした場合、迅速な開錠が必要です。過去には、トイレの開錠に時間を要したことが問題となり、訴訟へ発展した事例も報告されています。当院では、2026年5月に患者用トイレのラウンドを実施し、鍵の保管場所や開錠方法について確認しました。

ラウンド結果

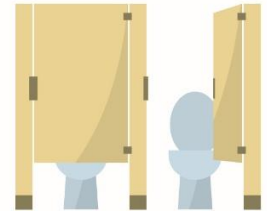
確認項目	結果
鍵の保管場所を知っていた	5/9部署
鍵の開け方を知っていた	2/9部署
呼び出し音作動確認	概ね良好
設備不具合	複数箇所あり

- * 5西病棟の男性用トイレの一部で、保管していた鍵が使用できませんでした。
 - ↳ 新しい鍵に交換しました。
- * 設備不具合箇所は施設管理へ報告しました。
- * 個室と障害者用トイレはコインタイプの鍵でした。

鍵タイプと開錠方法

①②コインタイプ

真ん中の溝にコインやマイナスドライバーなどを差し込み、開く方向に回してください。



③④ピンタイプ

赤い○の中の小さな穴に専用の鍵を差し込み、ゆっくりと鍵が開く方に回してください。

院内には3種類の鍵がありますが、開錠できる鍵を各部署に配付しています。他部署の鍵では開錠できない場合もあります。



今すぐ確認しましょう！

- ・鍵の保管場所を知っていますか？
- ・開錠方法を説明できますか？
- ・自部署の鍵タイプを知っていますか？

「今月の一言」は前号を持って終了しました。今号からは、インシデント報告 (Lv0・Lv1)の中から、事故の未然防止に繋がった事例を「グッジョブ報告」として紹介します。

今月のグッジョブ報告

- ▶ 病棟に払い出し後、薬剤が多く払い出されていることを発見した。
- ▶ 尿管ステントについている糸を両手で持ってちぎってしまった。留置前に破損に気付いた。
- ▶ MRI検査の画像の一部が、PACSに転送されていないことに気づいた。
- ▶ 穿刺時の止血を行う際、医師が指示した止血用デバイスと違う止血デバイスを出した。指示医から指摘を受けた。